

2024 年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修  
『ELNEC-J 高齢者カリキュラム指導者養成プログラム』アンケート集計結果報告書

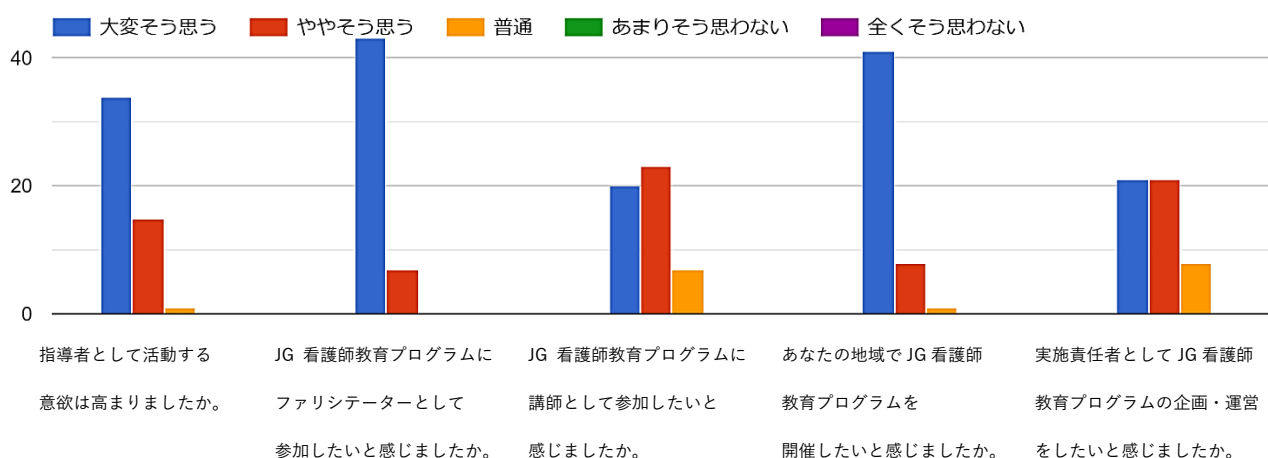
- 開催日 2024 年 11 月 2 日（土）、11 月 3 日（日）
- 場所 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
- 受講者 54 名 アンケート回答者 1 日目：54 名（100%） 2 日目：50 名（92.6%）

受講者の概要

年齢	性別	所属	資格認定について（複数回答可）
30 代 8 名	女性 49 名	病院 43 名	専門看護師 17 名
40 代 25 名	男性 5 名	施設・事業所 3 名	認定看護師 32 名
50 代 18 名		介護医療院 1 名	認定看護管理者 1 名
60 代 3 名		教育機関 7 名	

- ・看護師経験年数 平均 22.07 年（最短 10 年、最長 36 年）
- ・高齢者ケアに携わった経験年数 平均 19.24 年（最短 5 年、最長 36 年） (n=54)

ELNEC-JG 指導者として



(n=50)

感想やご意見をお書きください。

- 各モジュールのキーメッセージをわかりやすく講義頂いたので、自分で実践するときに振り返って役立てたいと思いました。
- 作成の意図や講義のポイントをきくことで改めて高齢者のエンドオブライフケアの軸を自分に落とし込む機会になった。講師の先生方の熱量に頑張ろうとエネルギーをいただきました。
- 全ての講師の先生方がエルネック JG の特徴や重要な点を話して下さり勉強になりました。また、指導者としての経験もお話しいただき、今後講義を行う側として学ぶ事も多くありました。

- 指導のポイントなどわかりやすかった。また、高齢者看護についても理解を深めながら受講することができたため、指導者の立場になった際の態度や環境作りに活かしていきたいと思う。先生方やボランティアの方の素早い動きや講師の内容に応じた受講生への気配りが安心に繋がり勉強になった。
- ELNEC-JG の講義を受けた時も、頭がパンパンになっていましたが、今回の指導者養成プログラムはそれ以上に頭がパンパンになりました。それぞれのモジュールの思い、伝えなくてはならないことをしっかりと学び自分の中に落とし込めるようにしていきたいと思いました。あと、指導者プログラムの講義を受けたのちに、再度教育プログラムを受けなおしたいと思ってしまいました。
- 自分の中で、これまでの研修を思い出しながらリフレクションし、新たな学びを落とし込んでいく…といった感じで、頭の中をフル回転しながら研修を受けさせていただきました。やっぱりこの研修の熱量はすごいなあと感じました。
- 駅からも近く、TV がありスライドが後ろまで見やすい会場でありがたかった。
- これまでは受講者だったが、講義をする側になると、講義の構成や受講者の分析など、事前の綿密な準備が大切なのだと思ふことができた。同時に自分にできるのかと不安になった。
- 各モジュール、一枚一枚のスライド全てに目的があり綿密に考えられた内容である事を感じました。高齢者の多い自施設でずっとエンド・オブ・ライフを学んで広げて行きたいと思ってきましたが、学びが足りない事を痛感しています。そして綿密な準備が必要だと感じています。
- 一つ一つの言葉を、大切にし、その言葉の意味を臨床の中で考え、感じ、落とし込んで伝えていくことがとても大切であると感じた。特に、日常倫理は常に感じている課題であり、感度を高くしてケアをしていきたい。伝えていきたいと改めて感じました。
- 自分がプログラムを受講したときのワクワク感、好奇心、これを自施設や地域の看護師たちに伝えたい、と感じたことを鮮明に思い出し、それがどんな教育技術から引き起こされているのかを具体的に知ることができた。
- 高齢者の EOL ケアの大切さを改めて感じ、それを人に伝える難しさを感じた 1 日でした。規定のスライドやアウトラインがあっても、本当に自分自身が理解していないと人に伝えられる自信はありません。タイトなスケジュールで理解しきれないことが多いので、どうすれば人に伝えることができるかということも含めて、しっかりと振り返りをしたいと思います。
- とても興味深く、あっという間の 1 日でした。受講した時の感動を再び思い出しました。思いをこめて作られた ELNEC-JG を自分も受講者に伝えられるのか不安ではありますが、同じ思いでケアする仲間を増やしたいとも思っています。
- 日々当たり前前に感じていたことが経験年数を重ねれば重ねるほど薄れていくこともあるし、できていた気になっていることもあると実感し、様々な層に届く伝え方を考えなければいけないと思いました。そういった意味で、今回先生方の講義の仕方に注目して、改めて聴講者の興味を引く話し方について考えることができました。
- 自身が ELNEC-JG を受講したあと実践の中で度々学びをおもいだせていたのは、学習効果を高めるための工夫や受講者に合わせて伝え方など工夫されていたからであること 理解し、指導者として大切にすることを学ぶことができました

指導者養成プログラムを開催していくにあたり、より充実させるべき点、再検討が必要な点などがございましたら、忌憚なくお書きください。

- 三連休の中での東京開催は、ホテルの予約が取れないですし、取れてもものすごく高額で金銭的な負担が大きくなりました。遠方からの受講者の普段を考えて、日程を決めていただけますと嬉しいです。
- 改善点を強いてあげるなら、最後の会全体を通しての質疑応答の時間をもう少し長く取る、もしくは全体解散した後も質問できる機会を設けていただけたらと思いました。
- 資料を確認しながら講義をうけるので、テーブルは広いほうが助かります。
- 指導者研修受講後、ご教示いただいたボランティアのような学びの場があれば、この受講が活かせるのではないかと思います。
- 私の地域では、主催に向けて障壁が多いですが、解決できるよう地域での連携や、今回得た近隣地域の方々のネットワークを互いに活用しより多くの地域に広がると良いと思いました。まずは、高齢者ケアの充実につながるよう行動目標を活用しながら今回の研修での学びを活かし活動していきたいです。
- 勤務や移動を考えると難しいことですが、3日間にしても良いくらいのボリュームでした。事前には、教育プログラムのテキストを読み返すことはしましたが、何らかの受講前の事前課題があっても良かったかなと感じました。しかし、限られた時間で皆で考えてやったグループワークはとても貴重でした。
- あえていうなら、前に受けた ELNEC-JG の内容を少し見てきた方が良かったでしょうか？(印象に残った内容や、M9 のワークの内容など)
- 最初から資料の構成を把握できると講義の流れや概観が理解しやすくなるので、インデックスごとの資料の説明を口頭もしくは目次に示していただけるとわかりやすかったと思います。

